

NEO タムダス

第131号
2016年

住宅用火災報知器を覚えていきますか？



平成23年、消防法改正に伴い住宅用火災報知器の設置が義務づけられました。その理由は住宅火災による死者の6割が「逃げ遅れ」によるという統計結果からでした。

義務付けから4年経った平成27年6月1日現在の調査によると岡山県の設置率^{註1}は全国ワースト2位(65.6%)、条例適合率^{註1}はワースト1位(39.2%)でした。

(註1)設置率とは条例により設置が義務づけられている場所のうち1ヶ所以上に取り付けられている割合、条例適合率とは義務づけられている場所全てに取り付けられている割合です。

火災報知器は義務化

さてこのことから付けるのではなく、自分の命を守るのが目的です。まだ設置されていない方はぜひ設置をお願いします。



火災報知器を設置する場所は条例によつて、全ての寝室 子供部屋でも就寝に使用する場合は必要、寝室が一階にある場合はその部屋へ至る階段、となっております。図1 台所は必須となつてはいませんが

年賀状印刷

宛名面印刷も出来ます



設置が望ましい、とされています。

機器の選定として火災報知器には単独式と連動式があります。

私がお奨めするのはワイヤレスの連動式です。

連動式は例えば報知器が4台あったとして、その内の1台が煙を感知するとその他の3台も警報を発してくれます。このことにより火災の発生をいち早く家全体に知らせることが出来ます。図2



図1 設置義務場所

火元の部屋だけでなく設置してある全ての部屋で連動して警報がなるので、よりすばやく避難等の対応がとれ安心です。



注1 周囲の環境によっては20秒程度かかる場合があります。

図2 連動型火災警報器

また、火災報知器には煙感知型と熱感知型があります。通常、煙感知型を使用しますが、台所では熱感知型を使用します。なぜかというと煙感知型は水蒸気にも反応しますので、水蒸気が発生しやすい台所では熱感知型を使用します。

すでに火災報知器を設置されている方へ...

多くの住宅用火災報知器は電池式で、電池寿命10年タイプが多いです。

報知器にはボタンかヒモが付いています。定期的このボタンを押すかヒモを引いて動作確認をしましょう。

正常な場合は？

正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音になります。

ビビ、
ビービー

<ブザータイプ>

ビービービー
火事です。

<音声タイプ>

注)警報音はメーカーや製品により異なります。

音が鳴らない場合は？

電池がキチンとセットされているか、ご確認ください。

...

<ブザータイプ>

シーン

<音声タイプ>

それでも鳴らない場合は、完全に電池が切れているか、商品が故障している可能性があります。 **当店までお気軽にご相談下さい。**

定期的な動作確認を！

岡山県は自然災害がとてもし少ない安全な所です。しかし、住宅火災に対してはどの優位性もありません。しっかりと命を守る対策を。

